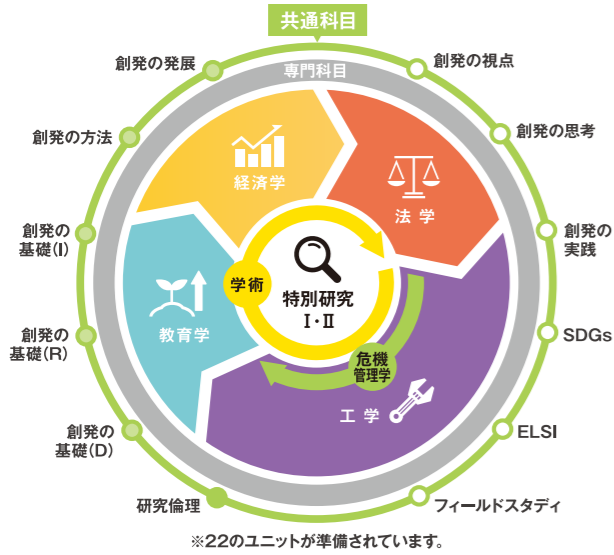


海岸線から地域を考える

香川県は日本で最も面積の小さい県ですが、多くの島々が浮かぶ瀬戸内海に面した沿岸域であり、面積当たりの海岸線の長さでは全国3位に当たります。陸と海の境界に多様な経済活動が集中し、豊かな歴史文化と景観があり、一方では防災や水資源をはじめとする社会・環境問題などにも直面している、言わば社会課題解決のための「実践的研究」のモデル的地域。ここで生まれた課題解決法は、世界に向けて発信できるはず。その最前線にあって「事前の対応策」をデザインすることが、創発における大学の役割だと考えています。こうした香川の環境の中で過ごすキャンパスライフを、想像してみてください。



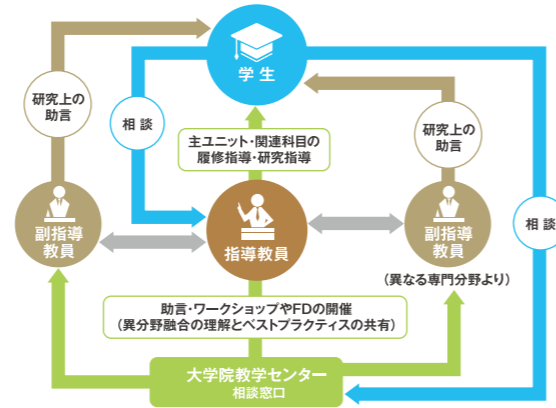
創発科学研究科の履修イメージ



※22のユニットが準備されています。

研究指導体制

- ◎副指導教員は学位や分野に閉じることなく、必要に応じて他分野の教員が参画
- ◎修士論文は、ルーブリックなどを用いて審査



修了要件と学位・専門性

修了要件:32単位以上

	研究科 共通科目	専門科目		特別研究 I	特別研究 II	合計
		主ユニット	関連科目			
修了要件	8単位	16単位以上		4単位	4単位	32単位以上
		6科目 12単位以上	2科目 4単位以上			

学位と専門性

学位に密接に関連した科目は、各学位分野の必要要件である10単位以上に特別研究8単位を合計した18単位以上とする。
(危機管理学、学術については、それぞれ8単位以上、16単位以上とする)

養成する人材の具体例

教育学 | 法学 | 経済学 | 工学 | 学術 | 危機管理学

出身学部 教育学部

主ユニット 人文的実践知ユニット

関連科目で文理の枠をまたいだ研究手法を学び教育の視点を含む人文知と数理データ解析力を駆使して地域社会の持続に貢献する人材育成のあり方を提案

出身学部 法学部

主ユニット 政策法務ユニット

関連科目で環境学やリスクマネジメントについて学び、住民のニーズを反映するだけでなく、地域に調和し、防災技術にも裏打ちされた災害に強いまちづくりを提案

出身学部 経済学部

主ユニット 観光・地域戦略ユニット

関連科目で建築学と都市計画について学び、古い町並みを新たな観光資源として再生させる地域資源を効果的に活用するプランを提案

出身学部 創造工学部

主ユニット 人工知能・ 通信ネットワークユニット

関連科目で政策法務を学び、AI技術の法的リスクを洞察しながら有効活用

創発科学研究科の
更に詳しい情報は
こちらのQRから



キーワードは「分野横断」 横のつながりが育む新しい発想力

柔軟にジャンルの枠を超え、豊かな知見に基づいて
多岐にわたるスキルを発揮する人材を育成する場所です。



新しい「知」を追求し 社会課題を解決する

2022年4月、香川大の大学院改革の第一歩としてスタートする創発科学研究科。既存の学問分野を軸に、各分野の知見を組み合わせながら効果的に相互作用させることによって、各分野の総和にとどまらない画期的な知や解決策を導出することを目指す学習や研究活動の規範を、香川大では「創発科学」と定義しています。

瀬戸内海沿岸域に位置する香川県は、長い海岸線に囲まれ、陸と海のはざまに豊富な社会活動を育むとともにさまざまな社会課題を抱えています。研究対象フィールドとの距離も近く、複雑かつ曖昧なVUCA時代において、社会課題の解決法を探る絶好のモデル地域と言えるでしょう。

そんな香川で、多分野の研究者が連携し、新たな発想で課題の解決に挑むとともに、幅広い視野と知識を持つ学生の指導にも注力。VUCA時代の先駆的な取り組みとして、現場の課題に至近距離からコミットし、学生一人一人の創発的融合を促進する、地方国立大学の在り方を提案していきます。

6学位を擁するユニット制 分野を超えて知見を育む

教育学・法学・経済学・工学の4学位に加えて、危機管理学と学術の学位を新設。6つの学位の下、人文社会系と工学系の知見を有機的に組み合わせる大学院教育を実践し

ます。学部の卒業生はもちろん、「もう一度大学で学ぼう」という意欲ある県内外の社会人などにも、広く門戸を開いています。

人文社会系の学生にとっては、教育学・法学・経済学の各専門分野を軸足に、「複合的な視点で地域課題に取り組み」「理系的センスで課題解決ができる」といった高度な専門知識を持つスペシャリストへの成長が可能に。工学系の学生にとっても、人文社会系の要素を取り入れて多様な社会課題解決の視点を育み、「社会の仕組みやニーズを洞察できるエンジニア」などの道が拓けます。

創発科学の考え方を理解するための基盤として、修了要件32単位のうち4分の1は「共通科目」を設定。特定のテーマや専門性に関する専門科目群として22のユニットを設け(ユニット制)、学生は専門テーマを意識した学びが可能になります。従来以上にきめ細かく専門深化を図る一方、複数の関連分野から柔軟に選ぶ「関連科目」で問題解決に必要な広い知識とメタ認知能力を育み、広がりのある学びを目指します。

さらに個々のテーマの研究を深めていく「特別研究I・II」では、異なる分野の複数教員の研究指導体制の下、課題の整理と解決・検証法の模索、分析と解析を経た結論を導く一連の過程を追求。また、創発科学研究科の創発的理論知を実践的に発展させていく取り組みとして、香川大地域マネジメント研究科との連携も実施していきます。